

障害のある人もない人も共に生きる社会へ

みんなでつくる

共生社会

毎年12月3日～9日は障害者週間です。

～共に生き、共に考える、明日を～

全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、障害及び障害のある人に対する国民の理解と関心を広く深める必要があります。

政府では、毎年12月3日～9日を「障害者週間」と定め、障害のある人の自立と社会参加の支援等に関する活動をはじめ、様々な取組・行事を行うこととしています。

内閣府における障害者週間関連行事について

1 「障害者週間」作品展

令和5年12月3日(日)～9日(土) 10:00～20:00

会場 羽田空港第2ターミナル
5階 マーケットプレイス フライトデッキトーキョー
5階 スカイデッキ通路

2 「障害者週間」ワークショップ

令和5年12月3日(日) 10:00～17:00(最終受付 16:30)
9日(土) 10:00～17:00(最終受付 16:30)

会場 羽田空港第2ターミナル
5階 マーケットプレイス フライトデッキトーキョー

3 「障害者週間」オンラインセミナー

令和5年12月3日(日)～28日(木)

配信場所 内閣府ホームページ



国、地方公共団体等における障害者週間関連行事について

毎年、障害者週間の期間を中心に、国及び地方公共団体等が、障害者週間の趣旨に沿った障害のある人の自立と社会参加の支援等のための様々な取組を実施します。

詳しくは、内閣府ホームページに掲載しています。是非、お近くのイベント・行事等にご参加ください。

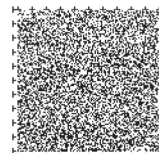


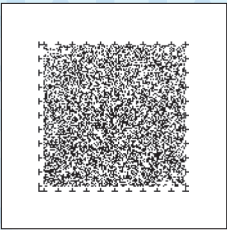
内閣府ホームページ：

<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html>



内閣府





1 「障害者週間」作品展

入場無料

全国から募集した「障害者週間のポスター」の全推薦作品の原画(74点)及び「心の輪を広げる体験作文」の最優秀賞作品(4編)を展示します。

日時 令和5年12月3日(日)~9日(土) 10:00~20:00

主催 内閣府

会場 羽田空港第2ターミナル 5階 マーケットプレイス フライトデッキトキヨー
※右ページ下の案内図をご確認ください。 5階 スカイデッキ通路

令和5年度「障害者週間のポスター」最優秀賞作品

【小学生区分】



「いっしょにやってみよう」

かまほり れん
釜堀 連

浜松市 浜松市立北浜小学校 2年

【中学生区分】



「やさしい手」

やまがみ ゆきな
山上 結希奈

千葉市 千葉市立おゆみ野南中学校 2年

令和5年度「心の輪を広げる体験作文」最優秀賞作品

心の輪を広げる体験作文 審査講評 令和5年度「心の輪を広げる体験作文」審査委員会委員長 三田 誠広

小学生区分

「いっしょに遊ぼう。」

もろ はし
師橋 ひより

京都府 城陽市立今池小学校 5年

自閉症で特別支援学校に通っている兄が、書き手のいる学校に交流しに来た時のようすを描いています。書き手の友人たちが優しく明るく兄に接してくれるさまを見て、はじめは不安を覚えていた書き手も心がなごんでいきます。家族だけでなく多くの人々との交流によって兄が元気になっていくようすが読者の胸をうちます。

中学生区分

「全部理解して欲しいと思いません。しかし、知って欲しいです。」

おだ りこ
小田 莉子

熊本県 氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校 2年

大きな音が恐怖であり、体が無意識に動いてしまうなど、自閉症スペクトラムという障害をかかえた書き手が、厳しい中にも深い理解をもった母に励まされながら、努力して生きていこうとする姿が描かれています。障害者自身がしっかりと主張をもっている点が評価されました。またこの思いやりのあるお母さんの姿も印象的でした。

高校生区分

「気づきから生まれる誰もが暮らしやすい社会」

さの ゆめか
佐野 夢果

静岡県 静岡県立掛川東高等学校 2年

障害のために車椅子で日常生活を送っている書き手が、友人たちに支えられて普通学級で学習しているさまが描かれています。この友人たちがとても親切で、障害者が健常者とともに催しに参加できるようにいろいろとくふうしてくれるところが胸に残りました。この友人たちとともに過ごす時間が、差別や同情を超えた、人間どうしの交遊を育てていくことがわかりやすく読者に伝わります。

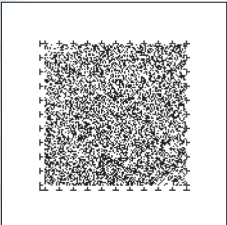
一般区分

「闘い」

まき た めぐみ
牧田 恵実

富山県

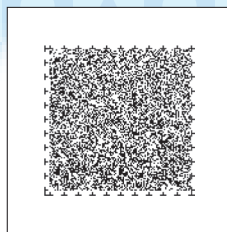
精神障害を負った書き手の発症からその後のさまざまな苦勞が描かれています。その実体験がなまなましく語られるとともに、日々の闘いの中で前向きに生きようとする書き手の決意が表明されていて感動的でした。



2 「障害者週間」ワークショップ

参加無料

体験をテーマに障害の特性を知っていただくための、パラスポーツを中心とした様々なワークショップを開催します。



日時 令和5年12月3日(日) 10:00~17:00 9日(土) 10:00~17:00 (3日・9日とも最終受付 16:30)

会場 羽田空港第2ターミナル 5階 マーケットプレイス フライトデッキトキョー

主催 内閣府 ■ワークショップに関するお問い合わせは令和5年度「障害者週間」関係事業事務局まで直接ご連絡ください。

1 スピードと機動性に驚き！スポーツ車いす試乗体験

3日(日) 驚異のスピードで車いす同士が激しくぶつかり合うバスケットボール競技。その激しい動きを支えるスポーツ車いすの操作性を、是非体験してください。

10:00

17:00

車いすバスケットボール男子 元日本代表キャプテン 豊島英選手によるトークショー

ボールと車いすを同時に操りながら繰り出す技の数々と、多くの国際大会で結果を残してきたチームの舞台裏を語っていただきます。

出演スケジュール

◇11:00~ ◇13:30~ ◇15:30~

2 未体験の世界へ パラスポーツVR体験 / VRスコープ手作り体験

3日(日) 9日(土) このワークショップでは、スマートフォンのみでVR体験をお楽しみいただけます。パラリンピック競技の、パラアスリートによるリアルな情熱や技の数々を感じてください。

10:00

10:00

17:00

17:00

※VRスコープ手作り体験は、各日先着150名です。

3 ボッチャの世界へようこそ

9日(土) ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに自分のボールをいかに近づけるかを競う戦略と戦術の頭脳戦。

10:00

17:00

障害の有無を超えて、参加者全員が一緒に楽しめるスポーツです。

君は勝てるか？

ボッチャ元日本代表 加藤啓太選手に挑戦！

出演スケジュール

◇11:00~ ◇13:30~ ◇15:30~

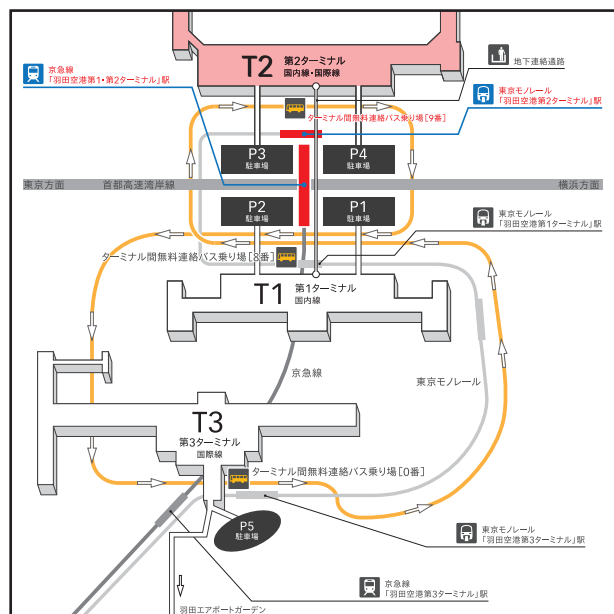
4 楽しむ力、つながる力 — eスポーツで感じる新しい世界

9日(土) 「私が飛行機に！？」飛行機になって画面の中で空を飛ぶゲームと、手が不自由な方でも操作できるコントローラで対戦するゲームの2つのブースをご用意しています。

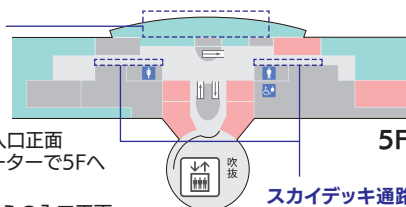
11:00

17:00

このイベントでは、道具の工夫を通じて、人々が共につながる力を体感いただけます。eスポーツがどのように人々をつなげ、楽しい時間を提供できるのかをお届けします。



マーケットプレイス
フライトデッキトキョー



1F 無料連絡バス乗り場[9番]側 入口正面 エスカレーターまたはエレベーターで5Fへ

B1F 第1ターミナル地下連絡通路からの入口正面 エスカレーターまたはエレベーターで5Fへ

羽田空港第2ターミナル
5階 マーケットプレイス フライトデッキトキョー
5階 スカイデッキ通路

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3丁目4-2

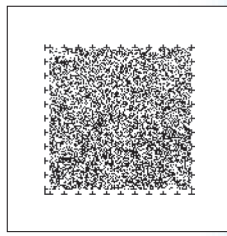
■電車 京急線「羽田空港第1・第2ターミナル」駅
東京モノレール「羽田空港第2ターミナル」駅

■バス ターミナル間無料連絡バス乗り場[9番]

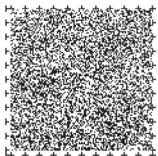


◀ 詳細はこちらから

https://tokyo-haneda.com/site_resource/floor/pdf/floor_pdf_floor_map_t2.pdf



3 「障害者週間」オンラインセミナー 視聴無料



障害及び障害のある人に関する理解を促進するため、オンライン配信により、障害者週間の趣旨にふさわしいセミナーを各団体が開催します。

- 視聴は無料です。※通信費は自己負担となります。
- 講演内容に関するお問い合わせは各セミナーの主催団体まで直接ご連絡ください。
- 視聴に関するお問い合わせは内閣府までご連絡ください。



配信期間 令和5年12月3日(日)~28日(木)

主催 各団体等

配信URL <https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/r05shukan/main.html#seminar>

1 公益財団法人 共用品推進機構

<https://www.kyoyohin.org/ja>

一人でも多くの人を使いやすくなるように工夫された「共用品」のおはなし

私たちは、日々、たくさんのモノに囲まれて生活しています。そしてその中に、障害のある人たちや高齢の人たちなどにとって助かる工夫が施された「共用品(きょうようひん)」があります。その一部をご紹介します。

TEL : 03-5280-0020

FAX : 03-5280-2373

e-mail : jimukyoku@kyoyohin.org

2 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

<https://www.jsrpd.jp/>

**重度障害者が参加したデジタル図書(マルチメディアデジター図書)製作のご紹介
—国連、持続可能な開発目標(SDGs)の「誰も取り残されない社会」の実現に向けて—**

発達障害児者向けの小中学校の教科書、副読本等のデジタル図書(デジター図書)を製作中です。全身性の障害により在宅療養を余儀なくされている方々のデジター図書製作の参加も実現しました。誰も取り残さない(SDGs)への取り組みとして、製作体験談の報告及び有効な支援についての提言等も専門家から報告を頂きます。

TEL : 03-5273-0601

FAX : 03-5273-1523

e-mail : soumu@dinf.ne.jp

3 公益財団法人 日本盲導犬協会

<https://www.moudouken.net/>

視覚障害者の情報アクセシビリティと盲導犬

前半は、誰もが自分らしい選択と社会参加をするために、中途視覚障害者が情報を取得しやすい環境と配慮についてお知らせします。後半は、盲導犬に関する基本情報と身体障害者補助犬法の説明、盲導犬との生活を選択した視覚障害者の社会参加について、課題と対応例をご紹介します。

TEL : 0544-29-1010

FAX : 0544-54-3030

e-mail : info@moudouken.net

4 公益社団法人 日本発達障害連盟

<https://jldd.jp/>

家族支援、こども支援、教育と発達障害に関する研究活動の実際

こどもの育ち、家族支援、インクルーシブについての発表、「障害基礎年金の勉強会」と「共生社会の実現に向けた理解啓発活動」についての発表、また、発達障害に関する研究大会や学術雑誌刊行、さらには研究成果の一般公開などの活動や、特別支援学校等におけるキャリア発達支援についてなどを構成4団体から発表します。

TEL : 03-5814-0391

FAX : 03-5814-0393

e-mail : info@jldd.jp

5 社会福祉法人 全国盲ろう者協会

<http://www.jdba.or.jp/>

知ってください！盲ろう者のこと

ヘレンケラーという方をご存じでしょうか？目と耳の両方に障害を併せ持つ、盲ろう者。日本に何名もいらっしゃいます。そんな方たちについて、少しでも知ってもらえたらうれしいです。

TEL : 03-5287-1140

FAX : 03-5287-1141

e-mail : info@jdba.or.jp

6 特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会

<https://www.zengenren.org>

幼少期から繋がる吃音支援

吃音がメディアに取り上げられることも増え、その認知度は徐々に上がっています。しかし幼少期から大人にかけて、吃音の症状や問題が複雑になっていくこと等、詳細は十分に知られていません。吃音があっても自由に話していた子が、どのように悩みを深めていくのか。どのような支援ができるのか解説いたします。

TEL : 03-6908-6333

FAX : 03-6908-6345

e-mail : info@zengenren.org

障害者週間に関するお問い合わせ

内閣府政策統括官(政策調整担当)付

障害者施策担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

TEL:03-5253-2111(代表)

令和5年度「障害者週間」関係事業事務局

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-3

チサン第7新大阪ビル926 ACE(エース)株式会社内

TEL:06-6885-7227 FAX:06-6885-7272

Email: s-syukan@ace10.jp

